

第39回建設業経理事務士検定試験

4級試験問題

注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄が2カ所あります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。（24点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 手許現金を補充するため、小切手¥60,000を振り出した。
- (2) 工食用資材が現場に搬入され、その代金¥150,000を支払うため小切手を振り出した。
- (3) 本社事務所で使用する文房具を購入し、その代金¥10,000を現金で支払った。
- (4) 現場事務所に借りた土地の賃借料¥20,000を現金で支払った。
- (5) 工事が完成したので、発注者へ引き渡し、その代金¥400,000を現金で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- (6) 銀行からの借入金の返済に際し、利息¥3,000を含む¥35,000が当座預金から引き落とされた。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 受取利息	D 損益	E 土地
F 事務用消耗品費	G 借入金	H 完成工事原価	J 完成工事高	K 支払利息
L 材料費	M 労務費	N 外注費	Q 経費	R 貸付金

〔第2問〕 次の文の の中に入る用語として適当と思われるものを下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～ト）を解答欄に記入しなさい。（8点）

- (1) 支払利息は 勘定に属し、備品は 勘定に属する。
- (2) 総勘定元帳の へは、仕訳帳の記録が される。この正確性を確かめるために、 が定期的に作成される。
- (3) になって、会計期間中に記入した諸帳簿の記録を整理して締め切るとともに、 と損益計算書を作成する手続きを という。

〈用語群〉

ア 資産	イ 仕訳帳	ウ 収益	エ 勘定口座	オ 会計期末
カ 決算	キ 負債	ク 転記	コ 現金出納帳	サ 試算表
シ 精算表	ス 貸借対照表	セ 当座預金出納帳	ソ 補助簿	タ 費用
チ 主要簿	ト 勘定科目			

〔第3問〕 次の表の（ア）～（シ）に入る金額を計算し、その金額を解答欄に記入しなさい。（12点）

（単位：円）

	期 首			期 末			収 益	費 用	当期純利益または 当期純損失（△）
	資 産	負 債	資 本 （純資産）	資 産	負 債	資 本 （純資産）			
a	72,000	60,000	（ア）	85,000	（イ）	（ウ）	90,000	75,000	（エ）
b	（オ）	32,000	（カ）	（キ）	35,000	22,000	（ク）	41,000	6,000
c	90,000	（ケ）	32,000	（コ）	45,000	（サ）	40,000	（シ）	△3,000

〔第4問〕 銚子工務店の次の〈資料1〉及び〈資料2〉に基づいて、解答用紙の合計残高試算表（20×9年1月31日）を完成しなさい。（30点）

〈資料1〉 20×9年1月1日の勘定残高は次のとおりである。

現金 ¥190,000 当座預金 ¥372,000 土地（各自計算） 借入金 ¥240,000 資本金 ¥490,000

〈資料2〉 20×9年1月中の取引は次のとおりである。

8日 借入金¥60,000を現金で返済した。

10日 本社事務用の筆記用具と印刷用紙を買い入れ、代金¥15,000は小切手を振り出して支払った。

11日 工事用資材を購入し、代金¥165,000は小切手を振り出して支払った。なお、同資材は購入先から工事現場に直送された。

15日 本社の当月分の電話代¥17,000が当座預金から引き落とされた。

19日 工事現場の諸経費¥59,000を現金で支払った。

21日 受注工事が完成したので発注者に引き渡し、工事代金¥376,000は現金で受け取った。

23日 本社事務員の当月分の給料¥170,000を現金で支払った。

26日 現場作業員の当月分の賃金¥210,000を現金で支払った。

27日 借入金の利息¥3,000を小切手を振り出して支払った。

31日 本社事務所の当月分の家賃¥62,000を小切手を振り出して支払った。

〔第5問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。（26点）

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。